「 第13回日本スポーツ理学療法学会学術大会 」指定演題

日付	時間	講演内容	氏名	所属
2026/12/19	9:25 ～ 9:55 30 分	学術大会長講演(灯す -スポーツ理学療法を起点とした異分野融合による価値創造-)	前田慶明	早稲田大学
	10:15 ～ 11:15 60 分	特別講演(スポーツを通じた共生社会の実現とウェルビーイングの向上に向けて)	河合純一	スポーツ庁
	11:15 ～ 12:15 60 分	特別講演(足部・足関節スポーツ傷害における動態評価の進歩と治療戦略)	生田祥也	広島大学
	12:35 ～ 13:35 60 分	ランチョンセミナー(温冷浴(人工炭酸泉)によるコンディショニングの科学と実践)	笹代純平	国立スポーツ科学センター
	12:35 ～ 13:35 60 分	ランチョンセミナー(EMSを科学する一神経筋機能から代謝応答までー)	西川裕一	金沢大学 理工研究域 フロンティア工学系
	12:35 ～ 13:35 60 分	ランチョンセミナー(脳振盪リハビリテーションの現状と課題)	緑川亨	ふくろうクリニック
	13:45 ～ 15:05 80 分	シンポジウム(パラスポーツにおける リスク管理の現在地)	古尾谷香苗	日本ボッチャ協会
	15:15 ～ 15:55 40 分	特別講演(体幹筋の使い方 -病態や状況に応じた活動様式-)	金岡恒治	早稲田大学
	15:45 ～ 17:05 80 分	シンポジウム(ハイパフォーマンススポーツにおける トータルコンディショニングサポート)	堀田泰史	国立スポーツ科学センター
			西川直人	国立スポーツ科学センター
			西田雄亮	国立スポーツ科学センター
			妙圓園香苗	早稲田大学
	17:15 ～ 18:45 90 分	特別企画 (愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会におけるメディカル＆コンディショニング サービス)	赤間高雄	早稲田大学
			小林寛和	日本福祉大学
			笹代純平	国立スポーツ科学センター
	17:15 ～ 18:35 80 分	シンポジウム(パフォーマンス向上と外傷・障害予防の両立を目指して)	佐保泰明	帝京大学
			佐藤正裕	横浜DeNAベイスターズ
			志村圭太	東京国際大学
2026/12/20	9:00 ～ 10:20 80 分	シンポジウム(保存療法の最後の砦 -スポーツ理学療法の可能性と限界-)	佐々木雄大	岡田整形外科
	9:00 ～ 10:00 60 分	海外特別講演(異国の地で掴んだプロの現場 -ドイツブンデスリーガ2部チームでのスポーツ理学療法士としての活動-)	野澤照平	SV Darmstadt 98
	11:20 ～ 12:20 60 分	教育講演(AIと臨床研究との向き合い方)	山下大地	国立スポーツ科学センター
	12:40 ～ 13:40 60 分	ランチョンセミナー (動作を観る、その先へ -動作分析技術の臨床応用と研究の最前線-)	村上憲治	太田医療科学大学
	12:40 ～ 13:40 60 分	ランチョンセミナー(肩関節を求心位へ導く ― KIROテーピングとAxis Fit™による動的安定化戦略)	河端将司	北里大学
	13:50 ～ 15:10 80 分	シンポジウム(スペシャリストから学ぶ -特異領域の臨床と研究-)	岡元翔吾	東京科学大学
			小山貴之	日本大学
			関口貴博	船橋整形外科クリニック
	15:20 ～ 16:20 60 分	特別講演(運動は脳にどう効くのか？ -脳の健康を支える運動処方と血管メカニズム-)	樽味孝	産業技術総合研究所